

○住まいと暮らし(住環境・防災・防犯・コミュニティ)

第1回市民まちづくり会議まとめ ※網かけ箇所は他グループで出された意見				
分野	良い所、残したい (宝モノ)	悪い、改善したい (問題モノ)	現状	課題
防災	自然災害が少ない		○自然災害が比較的少ない地理的条件である。 ○河川や用水が多く、水害のリスクがある。	水害や地震に対して、より強いまちづくりが必要。
		水害: 河川決壊 →スーパー堤防の必要性 地震: 台地は一部にしかない		
防犯	市民による防犯パトロール徹底実施(防災・防犯・空き家チェック)		○市民による防犯パトロールが行われている。	より犯罪が起こりにくいまちにするための取り組みや設備のあり方の検討が必要。
		防犯灯を夜空(星空)の楽しめる、光が漏れないタイプに整備してほしい(環境面)	○防犯灯が明るすぎて、星空が見えなくなっている。	
美化	地域の公園の除草作業		○公園の除草作業がきちんと行われている。 ○市有地の空地や緑道等の維持管理が十分にされていない。	気持ちよく暮らせるために、美化活動や維持管理の取り組み、体制整備が必要。
		市有地の空地の管理 落ち葉の管理 県で整備した緑道の管理が不十分(除草など)		
生活環境		買い物が不便 交通機関が少なく不便 南大通線まで行くことが不便 働く場所への交通網の整備が不十分	○地域によっては買い物や交通の利便性が低いところがある。 ○生活道路内への通過交通が増えると騒音などの問題が生じる。	利便性と生活環境の改善とのバランスのとれたまちづくりが必要。
		バス停、交差点の近くは利便性の代わりに騒音がする		
	民間分譲の住宅地は通過交通が少ない。(例: 持田四丁 不便さを楽しめる環境に出来ないか?) →通過交通を排除する考え			
		住宅を建て替える時、宅地が削られるのを止めて欲し	○建て替えに伴い、宅地の細分化等が進んでいる。	
公園		地域の公園はあまり必要ない 子供が少ないのであまり使われていない 人の賑わいを作れる無料の公園、広場、があると良い	○地域の公園は、あまり使われていない。 ○地域の公園は、管理上の問題がある。	地域の公園のあり方や維持管理について、リニューアルなどを含めた見直しが必要。
	緑道などの人の歩ける空間があると良い(古代蓮の里~さきたま古墳間の道路) 周辺にサイクリングロードが多数ある(平地や水と緑が活かされている)		→「魅力を高める」のグループへ移動	
			→「魅力を高める」のグループへ移動	
コミュニティ		過疎化が進んでいる(例: 須加地区、北河原地区)	○過疎化が進んでいる地区がある。	地域で支え合うコミュニティの維持に向けた取り組みが必要。
観光	古代蓮の里周辺に飲食店がない(古代蓮の里~さきたま古墳公園間の道路)		→「賑わいをつくる」のグループへ移動	
農業	消費地は抱えている(東京・埼玉)	水田だけでなく、畑も出来ないか	→「賑わいをつくる」のグループへ移動	

○暮らしを支える(道路・公共交通・下水道・情報インフラ)

第1回市民まちづくり会議まとめ ※網かけ箇所は他グループで出された意見				
分野	良い所、残したい (宝モノ)	悪い、改善したい (問題モノ)	現状	課題
道路		主要道路の歩道が少ない 高齢化に向けた対応が必要 (バリアフリー化) 歩道幅員が狭いため、ゆとり ある整備が必要	○主要道路で、歩道が整備されてい ない箇所がある。 ○歩道に段差やスロープが多い、ま た、歩道の幅員が狭い。	歩行者や自転車利用者が、気持ちよ く安心して道路を利用できる道づく りが必要。
		市内の歩道が凹凸がある 街中を歩けるよう、車道と歩 道の区別をなくす		
		中心市街地の歩道が少ない。 あっても段差、スロープ が多い。	○歩行者と自転車が安心して利用でき ない。	道路や街路樹について、適切な維持 管理が必要。
		中心地を国道125号が通って いる(ゆっくり歩けない) 自転車走行に危険を感じる		
		街路樹の整備不良 街路樹は必要なのか(問題 点も多い)	○道路や街路樹の整備・維持管理が十分 にされていない箇所がある。	
		国道125号を国から市へ移管 して欲しい		
		高速道路にアクセスする一 般道の利便性を高める	○高速道路へのアクセス利便性が十分 でない。	広域的な交通利便性を向上させるた めの道路計画が必要。
	公共交通	市内循環バスの観光地(蓮、 古墳、忍城)乗換と観光時間 の設定が良い	市内循環バスの利用率を向 上させる、手段を考える。	○市内循環バスは、観光利用しやすい 設定がされている。 ○市営バスの利用度が低い。
		乗り継ぎ券が1回限りなの で、もっと使えるようにしてほ しい 乗り継ぎ券と施設の入館券 行田駅からの民間バスが無 いので、何のための行田駅 なのか		
		JR行田駅での運行本数の増 加 (吹上駅を市民が多く利用し ている)	○JR行田駅よりも吹上駅の方が、市民 に多く利用されている。 ○秩父鉄道の本数が少ない。	交流人口の増加に向けた鉄道利便性 の向上が必要。
		快速の停車、1本しかない ホームの改良 秩父鉄道の運行本数増加		
インフラ	市営水道の水圧が高く使い やすい		○上水道が使いやすい。	地域住民が快適に暮らせるための上 下水道や都市ガスの整備・充実が必要。
		忍川への生活排水が多く、 冬場に臭う。 酒巻導水路に冬でも半分位 水を流して欲しい。「春先に なると水路が臭い」 単独浄化槽の合併浄化槽へ の転換を願う。一般排水系 統の整備	○忍川や酒巻導水路などの河川で、生 活排水の流入や冬期間の水流減のた めに、臭うことがある。	
		都市ガスが利用できない。プ ロパンはコストが高い。	○都市ガスが利用出来ない。	
市民参加		市民意識調査をもとに行政 を行って欲しい	○市民の意見を踏まえたまちづくりを進 めて欲しい。	市民の意見を踏まえたまちづくりを 進めるための体制や仕組みづくりが 必要。
生活環境		住宅を建て替える時、宅地 が削られるのを止めて欲し	→「住まいと暮らし」のグループへ移動	
公園・緑道	公園整備が良好。水城公 園、さきたま古墳公園、古代 蓮の里が良い。		→「魅力を高める」のグループへ移動	
情報発信		情報伝達方法が統一されて いない、観光・歴史等の案内 公営のイベントのPR方法とし て掲示板の新設を	→「魅力を高める」のグループへ移動	
			→「魅力を高める」のグループへ移動	

○魅力を高める(自然環境、景観、歴史・文化、レクリエーション)

第1回市民まちづくり会議まとめ ※網かけ箇所は他グループで出された意見				
分野	良い所、残したい (宝モノ)	悪い、改善したい (問題モノ)	現状	課題
地域資源	自然風景(田園、水辺)	小崎沼の整備	○自然の風景から歴史的な資源まで、様々な地域資源が点在している。 ○一部には、維持管理や整備が必要な地域資源がある。	多様な地域資源を、適切に維持管理しながら、活用していくことが必要。
	さきたま古墳群、旧忍川、古代蓮の里、小崎沼の広域な地を水田も含めて保存している	忍城の原風景として諏訪曲輪周辺を整備する(物置き場になっている)		
	利根川べりの活用			
	水城公園			
	忍城址と水城公園			
	蔵、手入れをしたもの			
	古い街並み(足袋蔵、裏道)			
	古墳と関連するもの			
	古民家(屋敷林も)			
	見沼代用水			
武蔵水路～利根川迄の緑道				
だんべ祭りの復活				
		忍川、水の浄化 水の浄化(川、水路) 旧忍川、ビオトープ・植樹		
道路		旧忍川の散歩路、古代ハスと古墳	○点在している地域資源を歩いて楽しめる散策道がない。	地域資源をつなぐネットワークの整備が必要。
		安全な散策の道		
		忍川、川岸の整備		
		秩父線の陸橋が出来ていない		
		旧忍川、忍川の整備		
		忍城としのぶ池を結ぶ散歩道(水路にせせらぎ)		
		春日緑道(南北道路)		
		市内の歩道が凹凸がある		
	街中を歩けるよう、車道と歩道の区別をなくす	→「暮らしを支える」のグループへ移動		
	レンタサイクルは、JR行田駅を含め6箇所にある	交差点に自転車道がない	○レンタサイクルやサイクリングロードの整備が進んでいるが、一部、自転車道が繋がっていない。	平坦な地形を生かした、自転車で回れるまちづくりの推進が必要。
	周辺にサイクリングロードが多数ある(平地や水と緑が活かされている)			
公共交通		観光地に向かう鉄道・バスなどの便が悪い	○地域資源を利用するための公共交通が整備されていない。	市民や観光客が地域資源を気軽に回れるような公共交通の充実が必要。
		市内拠点を行き来する交通の便が悪い		
		観光資源への交通が良くない 市内循環バスの案内が悪い(運転手)		
レクリエーション		人の賑わいを作る無料の公園、広場があると良い	○人が集まり、楽しめる魅力的な公園、広場、緑道等が少ない。	市民が楽しめる公園や緑道、サイクリング等の整備が必要。
	緑道などの人の歩ける空間があると良い(古代蓮の里～さきたま古墳間の道路)			
	公園整備が良好。水城公園、さきたま古墳公園、古代蓮の里が良い。			
		公園内や旧忍川～古代蓮の休憩所、ベンチ、トイレがない 街中にトイレや休憩所を増やす	○街中にベンチやトイレなどが少なく、ゆっくりと過ごすことが出来ない。	市民や観光客が街中でゆっくりと過ごすことができるスペースの充実が必要。
情報発信	行田駅にはパンフレットがある	主要信号に名称を入れる、また、観光拠点も含む案内板(地図)が不足している。	○地域資源の場所や地域資源に関する情報を伝える手段が充実していない。	地域資源に関する情報を、的確に伝えられるような情報発信の工夫が必要。
		観光・歴史等の案内について、情報伝達方法が統一されていない。		
		イベントのPR方法として、掲示板の新設する。		
行田のブランドがない		行田のブランドがない	→「賑わいをつくる」のグループへ移動	
泊まれる場所が少ない		宿泊施設が少ない	→「賑わいをつくる」のグループへ移動	
街路樹は弊害がある	街路樹は必要なのか(問題点も多い)		→「暮らしを支える」のグループへ移動	

○賑わいをつくる(中心市街地と駅周辺、産業振興、観光)

第1回市民まちづくり会議まとめ ※網かけ箇所は他グループで出された意見				
分野	良い所、残したい (宝モノ)	悪い、改善したい (問題モノ)	現状	課題
中心部		雇用の減少 経済不振	○市街地の商店街の活気がなくなっている。(シャッター通りになっている。) ○商店街の衰退により、雇用の減少、経済不振などの影響がある。	市中心部の位置づけやあり方についての検討が必要。  市街地の商店街のシャッター通りを解消し、活気や賑わいを取り戻すための取組みが必要。
		市街地の商店街の活気が無い(人口小)		
		旧市街地がシャッター通りとなって活況が無い		
		中心通り(行田市駅から)がシャッター通りになっている		
		シャッター通りがある		
		シャッターの店が多い 中心地、案内所が少ない(悪い)		
JR行田駅		商業施設がない。駅前 行田駅からのバス(民間)が無いので、何のための行田駅なのか	○JR行田駅周辺の開発がされておらず、商業施設などの集積が見られない。 ○JR行田駅へのアクセスが悪く、利用しにくい。	市内からJR行田駅へのアクセスの改善が必要。  JR行田駅周辺の開発推進による拠点づくりが必要。
		祭りの日が決まっていない(手帳とかに載らない)		
		観光案内所がトイレと間違えられている		
		JR行田駅の開発が為されていない JR行田駅前の計画が見えな ・吹上駅の利用 ・ものづくり 大学		
観光	観光スポットの数が多し。 観光名所が多い 観光客を呼びとめる資源がある。 歴史・文化財が多い 行田市には歴史的な観光拠点が多数ある さきたま古墳 古代蓮の里 忍城 水城公園 足袋蔵 蔵が多い		○たくさんの観光資源があるが、活用されていない。	多様な観光資源の活用や行田ブランドの創出など、多くの人が訪れるまちにするための取組みが必要。  観光客が行田市をゆっくり楽しむことができるような環境整備が必要。
		行田のブランドがない 行田市は食文化が無い 観光客を呼べる食べ物、みやげ品に乏しい	○行田ならではの食べ物や特産物がない。	
		食堂等、食べ物屋さんが少ない 観光客に対する物産店が無い。	○観光客が訪れたときに利用できる飲食店や駐車場、宿泊施設等が少ない。	
		街中に駐車場が少ない(買い物に不便) 古代蓮の里周辺に飲食店がない(古代蓮の里～さきたま古墳公園間の道路) 宿泊施設が少ない		
		基本的な情報公開が少ない 名所へ行き先を示す案内板が少ない	○観光客に対して観光に関する情報が伝わっていない。	
		信号(交差点)の名前がついていない所が多いので他市の人に説明しづらい(大きい駐車場名も) 具体的目標が無い 旧シルバーセンターの利用が出来ないか チラシ等の地図が見にくい。(スポットに行けない) 道路標識が少ない(観光地への)		
	観光に対する市民意識	観光に対する市民の関心が低い 観光客への市民意識が薄い 観光客に聞かれても答えられない	○観光に対する市民の関心が低い。 ○観光客に聞かれたときに答えられない人が多い。	
	農業	産業振興の面から見て、特産物が見えない(PR不足) 物産、農産物のPR不足 消費地を抱えている(東京・埼玉)	○首都圏を消費地に抱えており、農業は貴重な産業の一つとなっている。 ○行田市の農業に関するPRが少ない。	
	推進体制	大学、または研究機関が少ない。誘致活動していない 行政、諸団体との協働体制(情報)が無い 財政赤字	○行政や関係組織が情報を共有していない。 ○今後も厳しい財政状況が続く見込みとなっている。	
	公共交通	市内拠点を行き来する交通の便が悪い 観光資源への交通が良くない 市内循環バスの案内が悪い(運転手)	→「魅力を高める」のグループへ移動	
	道路	市中心部を国道125号が通っている(ゆっくり歩けな	→「暮らしを支える」のグループへ移動	